

平成27年度 第3回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

1. 日 時

平成27年7月8日（水） 午後1時30分から午後2時50分

2. 場 所

下関市立市民病院 2階 講堂

3. 次 第

- (1) 開会
- (2) 議題
- (3) その他
- (4) 閉会

4. 配布資料

- ・資料1 平成26年度（第3期事業年度）財務諸表等
- ・資料2 平成26事業年度にかかる業務実績報告書の提出について
- ・資料3 地方独立行政法人下関市立市民病院に対する評価の基本方針
- ・資料4 地方独立行政法人下関市立市民病院の年度評価実施要領

5. 議事録（概要） ※次頁以降

平成27年度第3回地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会の議事概要

1. 開催日時

平成27年7月8日（水）13時30分～14時50分

2. 開催場所

下関市立市民病院2階講堂

3. 出席者

- ・ 下関市立市民病院評価委員会
弘山委員長、杉浦委員、飯野委員、佐々木委員（1名欠席）
- ・ 下関市立市民病院
田中理事長、上野副理事長、池永理事 ほか
- ・ 下関市
大崎市民部長、中野市民部次長、山本病院管理課長 ほか3名

4. 内容

(1) 平成26年度に係る財務諸表等の報告について

- ・ 法人から平成26年度財務諸表等の内容について説明
【本件について、委員からの質疑応答なし】
- ・ 財務諸表の承認については、市長から評価委員会に対して意見を求められているため、評価委員会としての意見の取りまとめは次回の委員会で協議する。

(2) 平成26事業年度業務実績報告書について

- ・ 法人から平成26事業年度業務実績報告書の全体的な状況内容について説明

質疑応答・意見等（○委員発言 ●法人発言）

- 平成26年度決算はやっと黒字になったが、最終的には市からの補助金に頼らない方が良い。赤字から黒字にするためには非常にエネルギーが必要であったと思うがよく頑張った。

項目別の状況

【大項目第1】について

- 項目番号32で、カルテの開示請求があった24件のうち、開示しなかった3件の理由は何か？
- 開示しなかった3件は、古いカルテで保存年限が切れて処分したためである。
- 項目番号32で、電子カルテシステムの端末のパスワードを定期的に変更しているが、具体的にはどのくらいの期間で変更しているのか？
- パスワードの変更は6か月ごとに行っている。
- 項目番号27で、逆紹介率が100%を超えている理由は何か？
- 1人の患者に対して2つの医療機関に紹介する場合や、月が替わってから必要に応じて紹介状を出す場合もある。他の医療機関でも100%を超えているところが多い。
- 項目番号10で、職員の学会発表件数の実績値（98件）が計画値（120件）より低かったが、学会への参加が減っているのか？
- 平成26年度の計画値を高めを設定していたためである。
- 学会へ参加している回数はどうなっているのか？
- 学会に参加したらきちんと報告してもらおうようにしている。
- 学会への参加回数は確保すべきである。看護師の参加は増えているようだが、他のコメディカルの研修への参加はどうなっているのか？
- コメディカルへも参加を推奨している。

- 項目番号23で、地域がん診療連携拠点病院の指定が外された理由は何か？ 周辺全体のがん患者数等が減っているためか？ それとも市民病院に魅力がなく、他の病院に行っているためか？
- 下関市の場合、済生会下関総合病院が地域がん診療連携拠点病院に指定されたが、市内にある4つの公的総合病院の中で一番実績件数が多かったためと思われる。
- 将来的に市民病院は地域がん診療連携拠点病院に指定される見込みはあるのか？ 今後、地域がん診療連携拠点病院を目指すのか？
- 済生会下関総合病院の実績を上回るのには厳しいと思われるが、指定が受けられるように努力したい。

【大項目第2】について

- ・ 本件について、委員からの質疑応答なし

【大項目第3】について

- ・ 本件について、委員からの質疑応答なし

【大項目第4】について

- ・ 本件について、委員からの質疑応答なし

(3) その他

- ・ 事務局より、業務実績報告書に係る評価表について各委員で評価のうえ、事務局宛に提出をお願いした。